

2021年3月卒者(大学・大学院卒) 「新卒者採用に関する進捗調査」 集計結果報告

公益財団法人就職支援財団が、県内企業の2021年3月卒業予定の新卒者(大学・大学院卒)採用活動の8月時点での状況について調査しました。

調査の趣旨

この調査は、静岡県内企業における新卒採用活動の現時点での進捗状況を収集し、企業・学校・学生へタイムリーに情報を展開することで、今年度の企業の採用活動、学生の就職活動への対応策提言の資料としていくものです。

調査要領

■調査対象

静岡県内企業の経営者もしくは人事担当者

従業員数: 49名以下30.0%、50～99名23.9%、100～299名27.5%、300名以上18.6%

業種: 製造業29.8%、建設業12.8%、卸売・小売業15.8%、サービス業34.0%、その他7.5%

■調査期間

2020年8月7日～8月31日

■調査方法

2020年5月実施「新卒者採用に関する実態調査」(しずおか産学就職連絡会)の調査票送付先及び、新卒媒体やイベント等で新卒者を募集している企業から2,500社を抽出。調査依頼文を郵送し、WEBサイトにてアンケート回答

■有効回答数

570 サンプル (有効回答率 22.8%)

※集計は、調査対象のプロフィール以外、非該当・不明を除いて実施。また、小数点以下第2位を四捨五入して表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

<調査に関する問い合わせ先>

公益財団法人 就職支援財団

担当: 鈴木

TEL 054-271-3111

【総括】	3P
【調査結果】	
Ⅰ. 2021年3月卒者(大学・大学院卒)の採用活動実施状況	4P
Ⅱ. 選考プロセスにおける状況の前年度比較	5-6P
Ⅲ. 採用活動終了企業の活動実績	6P
Ⅳ. 新型コロナの影響を含めた今年度の採用活動の状況	7P
Ⅴ. インターンシップの実施状況	8-9P
Ⅵ. 採用活動におけるオンライン活用企業と未活用企業との状況比較	10P

＜今年度採用活動の概況＞

採用活動を継続している企業が5割を割る。採用状況全般的に改善傾向が見られるが、新型コロナの影響により、先を見通せない状況にあるようだ。

- ①新卒募集をしていない企業が前年よりも6ポイント上回り、採用活動を継続している企業の割合は5割を割った。一方採用意向のある企業の活動継続率は、ほぼ前年と変わらず6割を超えている(図表1、2)。採用活動の継続率を業種別に見ると、唯一「卸売・小売業」が前年の数値を上回り、厳しい状況がうかがえる(図表4)。
- ②採用計画人数の充足を見込んでいる企業は33%と前年を3ポイント上回っているが、「わからない」と回答している企業半数弱あり、先を見通せない状況にあるようだ(図表5)。とくに従業員数が「99人以下」の企業では、その傾向が強く見られる(図表6)。
- ③応募者数は増加傾向にある(図表7)。従業員数100人以上の企業では、県外学生からの応募が増加している(図表9)。面接者数は「増加した」企業、「減少した」企業の割合が共に前年よりも増加しており、二極化傾向が見られる(図表10)。
- ④内定者数は増加している企業の割合が減少し(図表13)、内定辞退率は低下した割合が増加している(図表14)。
- ⑤採用活動を終了した企業のうち、採用予定人数に達した企業の割合は、前年とほぼ同率の48%となっている。終了理由で前年と比較して最も変化があったのは、「採用計画を見直したから」で3番目に高い理由となった。2位が「状況が厳しいから今年は諦めたから」となっており、ここにも新型コロナが影響しているようだ(図表16)。
- ⑥前年よりも採用活動状況が厳しくなっているとした企業は46%で、前年数値を13ポイント下回っている(図表18)。
- ⑦新型コロナの影響をうけている企業は8割を超えている。かなり影響をうけている企業は43%となっているが、しずおか産学就職連絡会の5月調査よりは9ポイント下回っている。時間の経過により、ある程度状況に対応し始めているのではないのだろうか(図表19)。
- ⑧新型コロナの影響はあっても採用計画人数を変更しないとした企業が6割を超えている(図表21)。

＜インターンシップの概況＞

新型コロナの影響により、インターンシップの実施率が一時的に低下している。

- ①インターンシップ実施率は47%で前年を12ポイント下回っている(図表23)。実施率は、全ての従業員規模において前年を下回っている(図表24)。
- ②インターンシップを実施する理由は、上位3位まで採用に関連する項目となっている。採用を意識してインターンシップを実施する企業が多いようだ(図表29)。
- ③インターンシップを実施しない理由で最も多いのは、「新型コロナの影響による」というもの。2016年の調査以来インターンシップ実施率は上昇し続けていたが、今回はじめて減少に転じた。ただ、理由はコロナの影響が大きく、一時的な状態だと思われる(図表30)。

＜今後の採用活動について＞

今後の採用活動においては、オンラインの活用が鍵になりそうだ。コロナ禍が収束した後でも県外学生の獲得など、有効なツールになるのではないか。

新型コロナの影響により先を見通せない状況となっているが、選考プロセスや成果において前年よりも改善している企業が確認できる。応募者数(とくに県外学生からの応募数)、面接者数、内々定出しの実績が前年よりも増加している企業、採用活動にオンラインを活用している割合が高い(10P-VI参照)ことから、オンラインの活用は採用活動の成否を分ける鍵になっていると考える。オンラインの活用は、対面を自粛しなければならないコロナ禍での説明会や面接対応はもちろんのこと、県外学生といった遠隔の学生の対応には、有効なツールである。県外学生等、遠隔の学生との接触については、コロナ収束後も使える手段になりそうだ。今や採用活動の一環と言ってもよいインターンシップでもオンラインを取り入れるか否かで、コロナ禍での実施の可否、県外学生を含む参加学生の確保に影響を与えるであろう。地域で人材を獲得していくためには、都市圏に遅れをとっているオンラインの活用が重要であり、コロナ禍の今こそオンラインの活用を始めるべきタイミングではないだろうか。

※総括及び調査結果のTOPICSのコメントにある“前年”とは、“前年同時期”の調査となります。

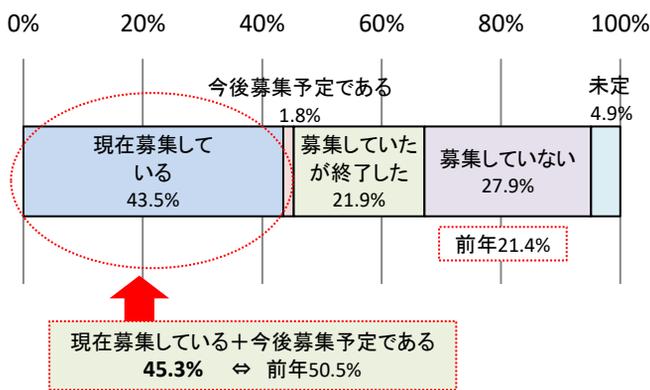
【調査結果】

I. 2021年3月卒者(大学・大学院卒)の採用活動実施状況

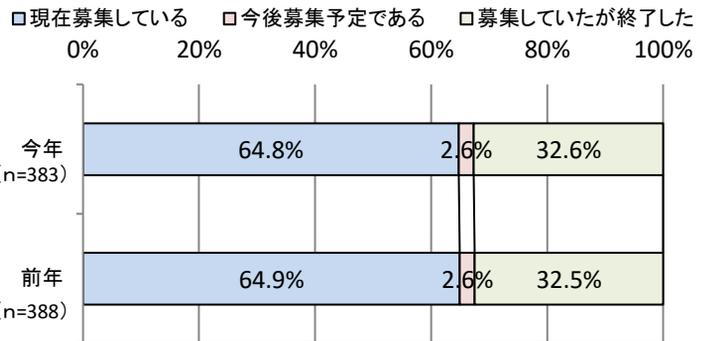
<TOPICS>

- 採用活動を継続している、あるいは募集予定のある企業は全体の45%と前年を5ポイント下回った(図表1)。採用意向のある企業の採用活動の継続率は前年とほぼ同程度となっている(図表2)。従業員規模が小さいほど、継続率が高くなっている(図表3)。業種別では、建設業の活動継続率が最も高いが前年数値を下回っている。卸売・小売業は唯一前年数値を上回っている(図表4)。
- 今年度の採用計画を充足できそうな企業は全体の33%で前年を3ポイント上回った(図表5)。わからないと回答した企業の割合が46%と最も多く、前年を12ポイント上回っている。(図表5)従業員99人以下の企業では、わからないと回答している企業の割合が5割を超えている(図表6)。

(図表1) 2021年3月卒者の採用募集状況 (n=570)

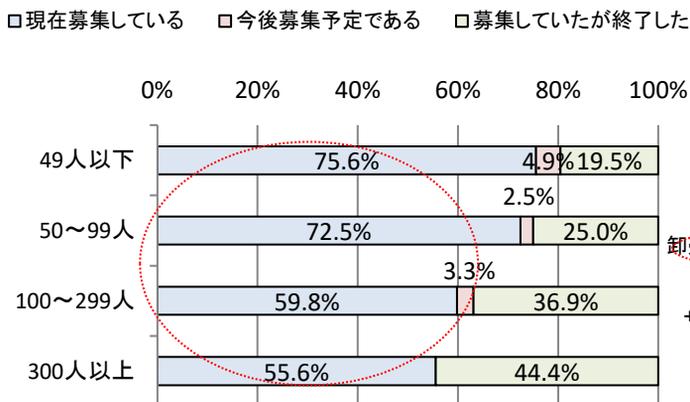


(図表2) 採用意向のある企業の活動継続率

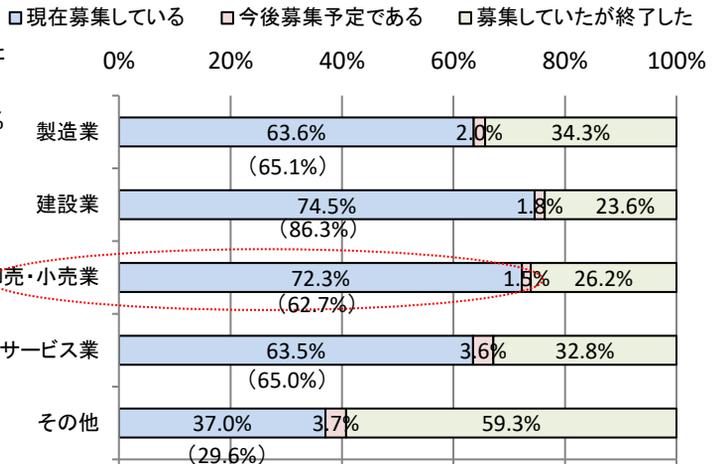


(図表3) 従業員規模別:

採用意向のある企業の活動継続率

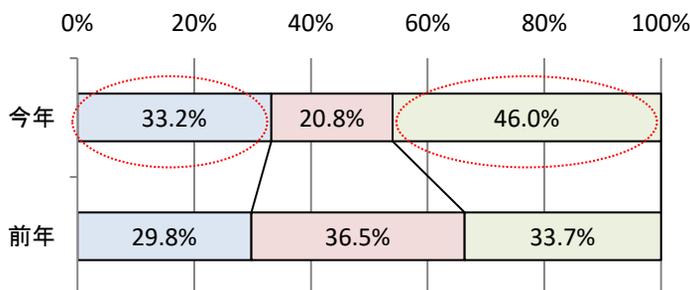


(図表4) 業種別: 採用意向のある企業の活動継続率



(図表5) 採用計画充足見込 (n=385)

□充足できそう □充足できそうにない □わからない



(図表6) 従業員規模別: 採用計画充足見込

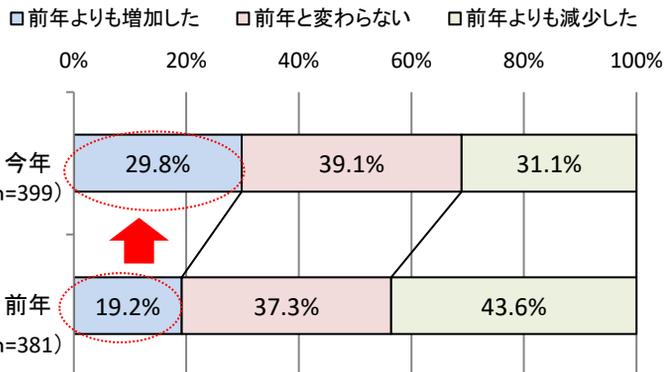
従業員規模	充足できそう	充足できそうにない	わからない
49人以下	23.5	23.5	52.9
50~99人	20.7	24.1	55.2
100~299人	36.4	20.0	43.6
300人以上	53.5	15.1	31.4

II. 選考プロセスにおける状況の前年度比較

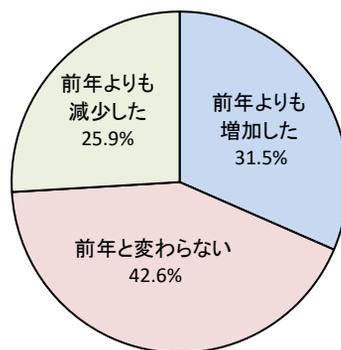
<TOPICS>

- ・応募者数は「前年と変わらない」企業の割合が39%と最も高い。「前年よりも増加した」企業の割合は30%と前年よりも11ポイント増加している(図表7)。
- ・県外学生からの応募者は、「前年よりも増加した」企業の割合が、「減少した」企業の割合を6ポイント上回っている(図表8)。従業員100人以上の企業は、「増加した」企業の割合が「減少した」企業の割合を上回っている(図表9)。
- ・面接者数を前年と比較すると、「増加した」企業と「減少した」企業が前年数値を上回っている(図表10)。
- ・内々定を出した企業の割合は62%で、前年を2ポイント下回っている(図表11)。
- ・最初に内々定を出した時期は、4月が最も多くなっている。前年数値の高かった5月、6月は前年数値を下回っている(図表12)。
- ・内々者数を前年度と比較すると、前年と変わらない企業の割合が46%と最も多い。「前年よりも増加した」企業の割合が最も少なく、前年を8ポイント下回っている(図表13)。
- ・内定辞退者数を前年の比較すると、「前年と変わらない」割合が48%と最も高くなっている。次に「前年よりも減少した」企業の割合が多く、前年よりも7ポイント上回っている(図表14)。

(図表7) 応募者数の前年度との比較



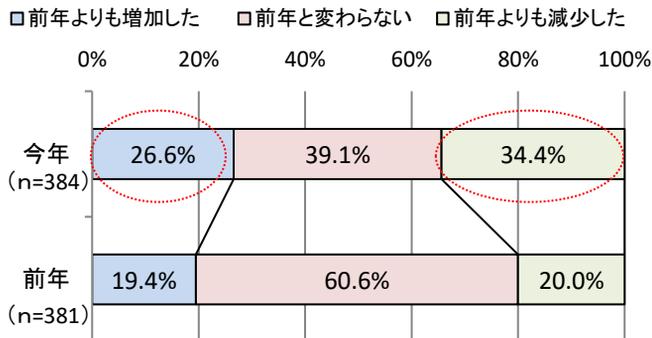
(図表8) 県外学生からの応募数の前年比較 (n=378)



(図表9) 従業員規模別：
県外学生からの応募数の前年比較

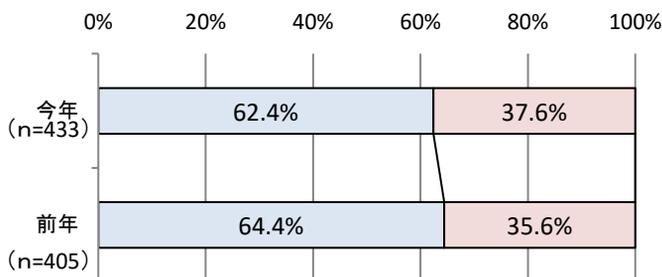
従業員規模	前年よりも増加した	前年と変わらない	前年よりも減少した
49人以下	26.7	42.7	30.7
50~99人	22.6	47.6	29.8
100~299人	36.1	39.3	24.6
300人以上	37.1	42.3	20.6

(図表10) 面接者数の前年度との比較



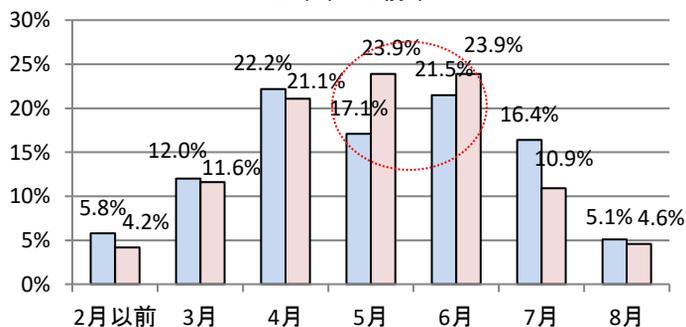
(図表11) 内々定出し状況の前年度との比較

□出した □出していない

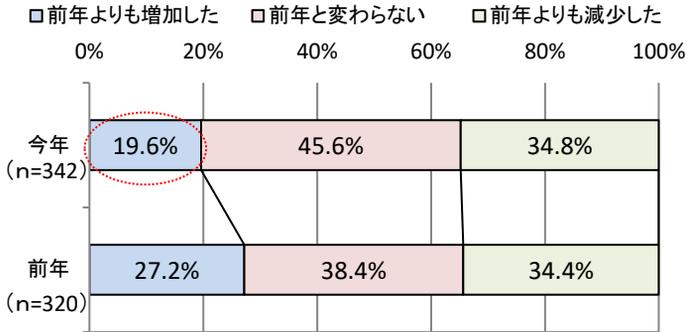


(図表12) 内々定を出した時期の前年度との比較 (n=275)

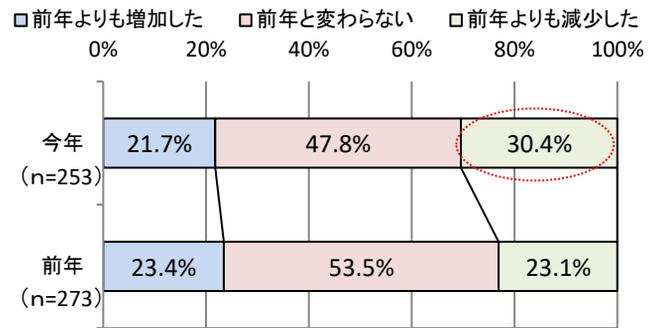
□今年 □前年



(図表13)内々定者数の前年度との比較



(図表14)内定辞退者数の前年度との比較

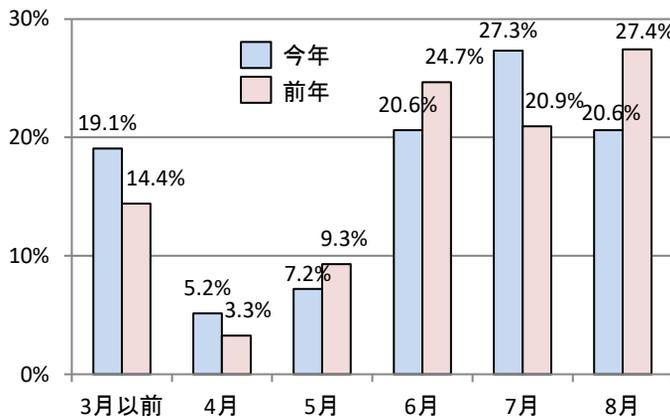


Ⅲ. 採用活動終了企業の活動実績

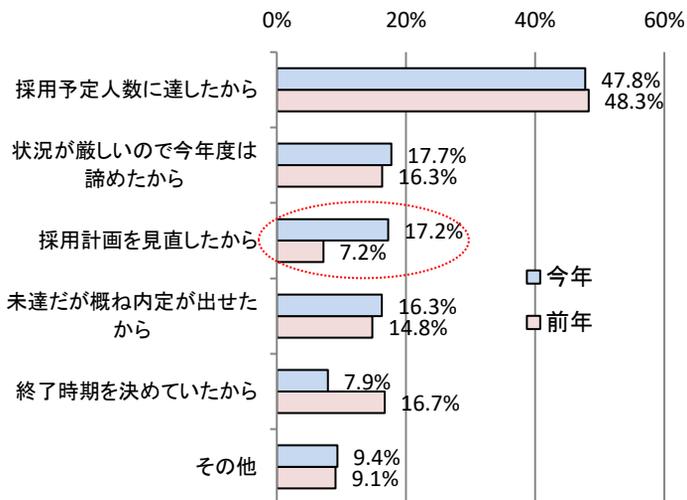
<TOPICS>

- 採用活動の終了時期は「7月」の割合が最も高く、前年を6ポイント上回っている。他には「3月以前」と「4月」に終了した企業の割合が、前年を上回っている(図表15)。
- 採用活動を終了した理由は、「採用予定人数に達したから」が48%と最も多い。続いて「状況が厳しいので今年度は諦めたから」、「採用計画を見直したから」という理由が多くなっている。「採用計画を見直したから」という企業の割合は前年を10ポイント上回っている(図表16)。従業員数99人以下の企業は、「状況が厳しいので今年度は諦めたから」「採用計画を見直したから」という企業の割合が、100人以上の企業より高くなっている(図表17)。

(図表15)採用活動を終了した時期
(今年n=194、前年n=215)



(図表16)採用活動を終了した理由(n=203、複数回答)



(図表17)従業員規模別:採用活動を終了した理由

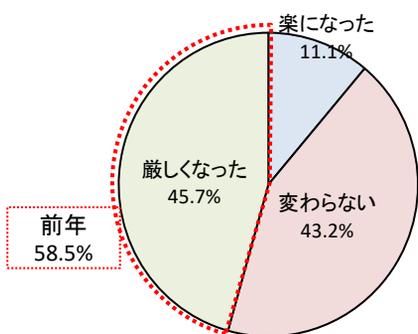
	採用予定人数に達したから	状況が厳しいので今年度は諦めたから	採用計画を見直したから	未達だが概ね内定が出せたから	終了時期を決めていたから	その他
49人以下	39.6	33.3	20.8	4.2	2.1	14.6
50~99人	30.0	25.0	25.0	10.0	5.0	20.0
100~299人	53.6	13.0	10.1	24.6	8.7	5.8
300人以上	63.0	2.2	17.4	21.7	15.2	0.0

IV. 新型コロナの影響を含めた今年度の採用活動の状況

<TOPICS>

- ・前年と比較した今年の採用活動の印象は46%の企業が「厳しくなった」と回答したが、前年を13ポイント下回っている(図表18)。
- ・新型コロナの影響については、84%の企業が影響があると回答している。「かなり影響がある」企業の割合が最も多いが、5月調査と比較すると9ポイント下回っている(図表19)。
- ・新型コロナの具体的な影響は、「学生との接触機会の減少」が80%と最も多くなっている(図表20)。
- ・新型コロナの影響による採用予定人数の変更については、62%が「変えない」と回答しており、5月調査を7ポイント上回っている。「今後の状況による」とした企業は5月時点から12ポイント減少し、「減らす予定」の企業は4ポイント増加している(図表21)。従業員99人以下の企業では「今後の状況による」とした企業の割合が、100人以上の企業よりも高くなっている(図表22)。

(図表18) 前年と比較した採用活動の印象(n=368)



(図表19) 新型コロナの影響について

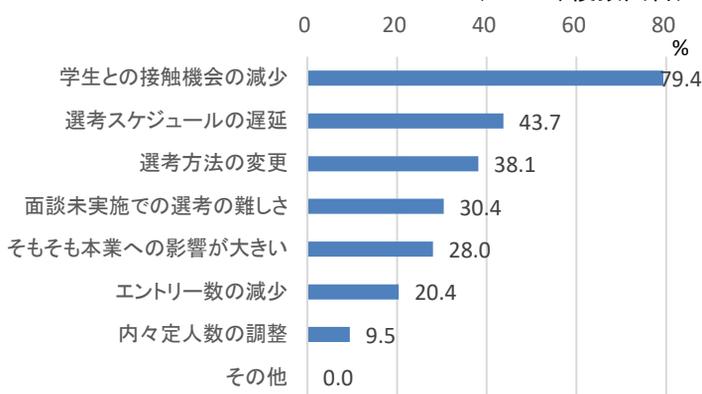
□かなり影響がある □まあ影響がある □あまり影響はない □ほとんど影響はない



5月調査...しずおか産学就職連絡会「新卒者採用の実態調査」

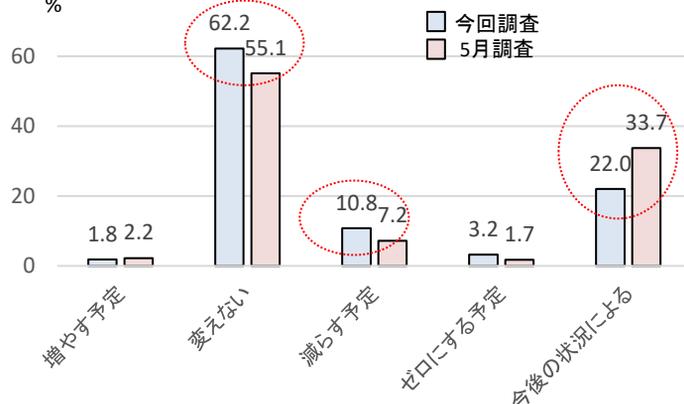
(図表20) 新型コロナの具体的な影響

(n=378、複数回答)



(図表21) 新型コロナの影響による採用予定人数変更の有無

(n=436)



(図表22) 従業員規模別: 新型コロナの影響による採用予定人数変更の有無

%

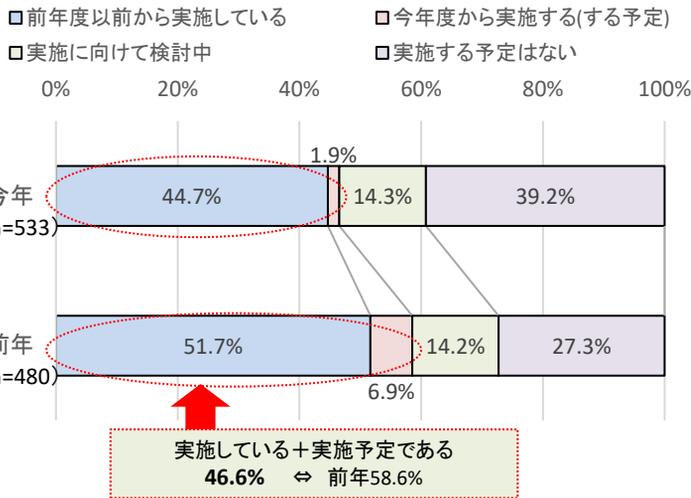
	増やす予定	変えない	減らす予定	ゼロにする予定	今後の状況による
49人以下	1.9	59.2	4.9	3.9	30.1
50~99人	0.0	57.7	12.4	5.2	24.7
100~299人	2.2	68.9	8.9	3.0	17.0
300人以上	3.0	60.4	17.8	1.0	17.8

V. インターンシップの実施状況

<TOPICS>

- ・インターンシップを実施している企業の割合は47%で、前年を12ポイント下回っている(図表23)。全ての従業員規模で実施割合が前年を下回っている(図表24)。
- ・実施時期は「8月～9月」が61%と最も多いが、前年を12ポイント下回っている。「10月～12月」「3月」「4～7月」は、前年を上回る実施割合となっている(図表25)。
- ・実施期間は「1日」が61%と最も多く、前年よりも4ポイント増加している(図表26)。
- ・実施手法は、「これまで通り対面で実施」する企業の割合が63%と最も多くなっている(図表27)。「これまで通り対面で実施」する企業の割合は、従業員規模が小さくなるほど高くなっている(図表28)。
- ・インターンシップの目的は「採用のため」「学生に対して会社の理解度を高めるため」が7割と最も多くなっている。「会社の認知を高めるため」が65%で続いている(図表29)。
- ・インターンシップを実施しない理由は、「新型コロナの影響による」とした企業が35%と最も多くなっている。「新型コロナの影響による」とした企業の割合は、従業員規模別では「300人以上」、業種別では「卸売・小売業」、地域別では「県東部」の企業が他の属性よりも高い割合となっている(図表30)。

(図表23) インターンシップの実施状況 (n=480)



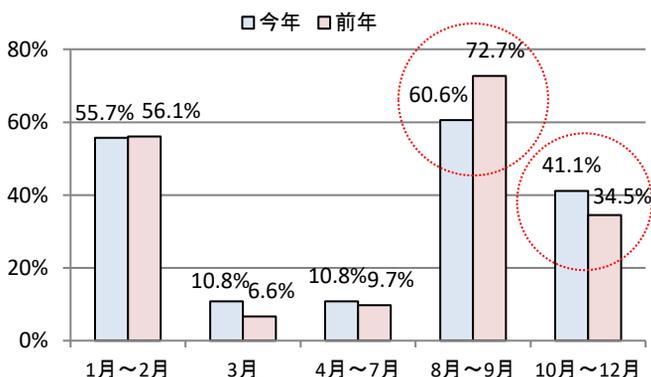
(図表24) 従業員規模別：インターンシップの実施状況

従業員規模	実施している(予定含む)	実施に向けて検討中	実施する予定もない
49人以下	29.1%	13.9%	57.0%
50～99人	35.2%	14.4%	50.4%
100～299人	51.9%	16.9%	31.2%
300人以上	77.7%	10.7%	11.7%

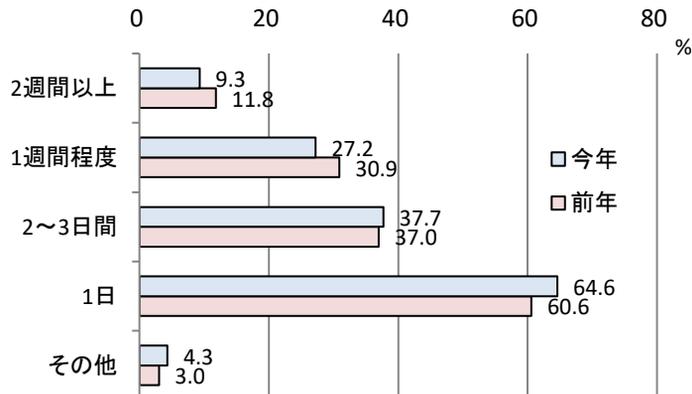
前年度調査

従業員規模	実施している(予定含む)	実施に向けて検討中	実施する予定もない
49人以下	40.8%	16.8%	42.4%
50～99人	52.0%	13.0%	35.0%
100～299人	65.4%	13.8%	20.8%
300人以上	79.4%	12.7%	7.8%

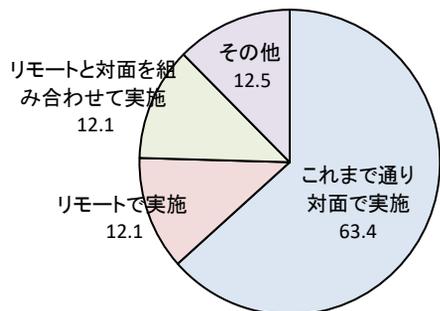
(図表25) インターンシップの実施時期 (n=287、複数回答)



(図表26) インターンシップの実施期間 (n=302、複数回答)



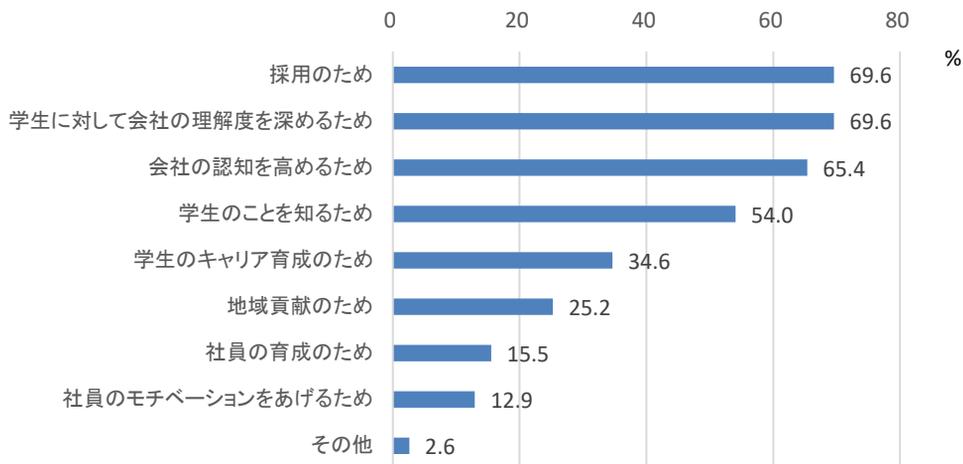
(図表27) インターンシップの実施手法 (n=224)



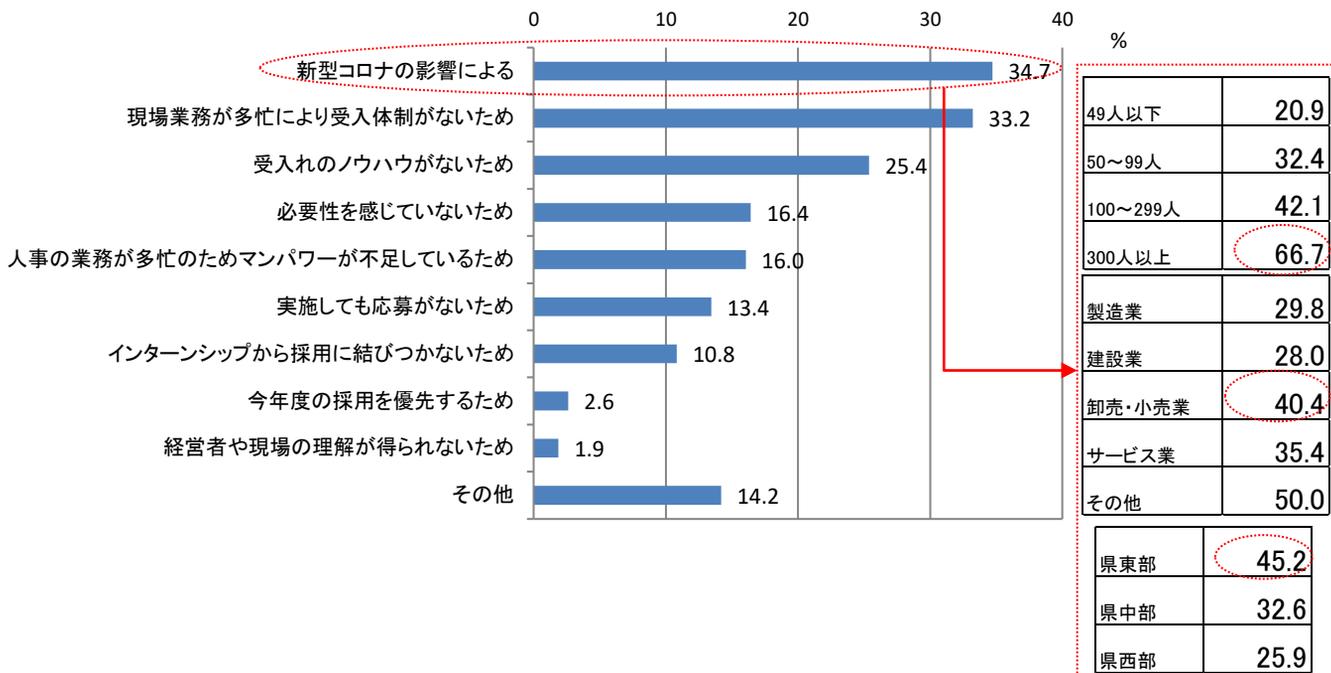
(図表28) 従業員規模別：インターンシップの実施手法

従業員規模	これまで通り対面で実施 (%)	リモートで実施 (%)	リモートと対面を組み合わせさせて実施 (%)	その他 (%)
49人以下	78.7	4.3	4.3	12.8
50~99人	70.5	9.1	2.3	18.2
100~299人	59.4	10.9	21.9	7.8
300人以上	52.2	20.3	14.5	13.0

(図表29) インターンシップの実施目的 (n=309、複数回答)



(図表30) インターンシップを実施しない理由 (n=268、複数回答)



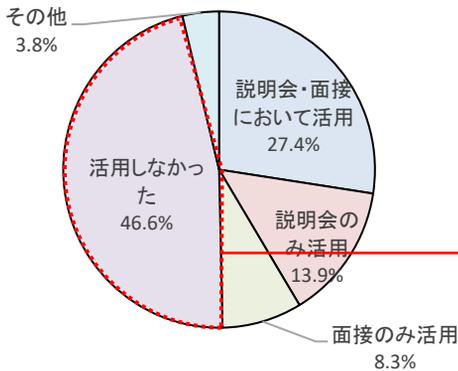
VI. 採用活動におけるオンライン活用企業と未活用企業との状況比較

<TOPICS>

採用活動におけるオンラインの活用状況により、以下の成果及び活動状況に差が見られる。

- ・オンラインを活用しなかった企業に対して、オンラインを活用した企業は、
- ①採用計画人数を充足できそうと見込んでいる割合が14.4ポイント高い。
- ②採用活動の終了理由では、「採用人数に達したから」とした割合が17.9ポイント高く、「状況が厳しいので今年度は諦めたから」とした割合は12.6ポイント低い。
- ③前年よりも応募者数が増加した割合が9.4ポイント高い。
- ④県外学生からの応募数が増加した割合が18.8ポイント高い。
- ⑤前年よりも面接者数が増加した割合が11.5ポイント高い。
- ⑥内々定を出した割合が36.4ポイント高い。
- ⑦インターンシップを実施する割合が15.7ポイント高い。
- ⑧インターンシップをこれまで通り対面で実施する割合が29.3ポイント低い。

(図表31) 選考におけるオンライン活用状況 (n=423)



<従業員規模別>

従業員規模	活用しなかった
49人以下	62.9
50～99人	58.7
100～299人	49.3
300人以上	16.0

① 採用計画人数充足見込み	充足できそう	
	オンラインを活用した	41.6
オンラインを活用しなかった	27.2	

② 採用活動の終了理由	採用予定人数に達したから	未達だが概ね内定が出せたから	終了時期を決めていたから	採用計画を見直したから	状況が厳しいので今年度は諦めたから	その他
	オンラインを活用した	60.6	19.2	12.1	12.1	8.1
オンラインを活用しなかった	42.7	15.9	4.9	19.5	20.7	13.4

③ 応募者数	前年よりも増加した	
	オンラインを活用した	32.4
オンラインを活用しなかった	23.0	

④ 県外学生からの応募数	前年よりも増加した	
	オンラインを活用した	37.2
オンラインを活用しなかった	18.4	

⑤ 面接者数	前年よりも増加した	
	オンラインを活用した	29.6
オンラインを活用しなかった	18.1	

⑥ 内々定出し状況	出した	
	オンラインを活用した	81.7
オンラインを活用しなかった	45.3	

⑦ インターンシップ実施状況	実施する	
	オンラインを活用した	63.4
オンラインを活用しなかった	47.7	

⑧ インターンシップ実施手法	これまで通り対面で実施	
	オンラインを活用した	51.2
オンラインを活用しなかった	80.5	